

令和7年度第2回釧路警察署協議会議事概要

第1 開催日時

令和7年11月26日（水） 午前10時0分から午前11時20分まで

第2 開催場所

釧路方面釧路警察署 大会議室

第3 出席者

1 協議会委員 12人（定員12人）

会 長 簗 島 弘 幸

副 会 長 根 本 歩

委 員 白 田 和 史、安 藤 祐 子、吉 村 眞由美、小 畑 由 紀
鈴 木 幸 雄、吉 田 敦 子、須 子 波留美、藏 本 博 幸
長谷川 桜 子、高 橋 勇 人

2 警察署員 7人

署 長 香 西 伸 彦

刑事・生活安全官 伊 藤 大 輔

地域官兼地域課長 杉 山 浩 基

交 通 官 大 城 戸 英 雄

警務官兼警務課長 中 田 潤

交通第一課長 三 原 正 東

警務係長（事務局）

第4 開催状況

1 開会

2 会長挨拶

3 署長挨拶

4 協議内容

(1) 釧路警察署管内の交通事故発生状況

(2) 交通安全活動の実施状況

(3) 質疑応答

【質問】 運転免許の返納状況と飲酒運転の状況について伺いたい。

《回答》 当署における運転免許の返納受理状況は、本年4月1日から11月20日までで145件となっており、今後も高齢運転者の方への広報を継続して実施していきます。

飲酒運転については、全道的に減少には至っておらず、当署管内でも飲酒運転による事故が発生している状況にあることから、取締りや啓発活動を強化していきます。

【質問】 運転免許の返納をより推進していくためには、自治体や公共交通との連携が必要なのではないか。

《回答》 臨時窓口の設置や返納により受けられるサービスなどについて、自治体などと連携して自主返納しやすい環境の整備を進めていきます。

【質問】 冬季の交通事故について、道路の除雪や砂まきの頻度も発生件数に影響しているのではないか。

《回答》 道路管理者と連携し、天候や路面状況に応じた、除雪や砂まきの要請を行っていきます。

【質問】 高齢者講習の内容について、もっと実技に重点を置いた方がいいのではないか。

《回答》 講習の内容については、法律で講習の方法が定められているので、個別に内容を変更することはできませんが、当署としては各種講話や安全運転サポートカーの普及啓発などを通じて、高齢運転者の方の意識向上に努めていきます。

【質問】 交通安全アドバイザー制度について、テレビやラジオを利用することが少ない若い人に向けたものがあればいいのではないか。

《回答》 北海道警察のYouTubeチャンネルやXなど、さまざまなツールを活用した情報発信を検討していきます。

【質問】 北海道は車の速度が速く、歩行者がいても止まらないなど、人よりも車が優先に走行している印象を受ける。

進路変更の際に合図を出さない車も多いように思う。

《回答》 取締り活動を強化するとともに、歩行者被害の事故を防止するために「ハンドサインでストップ運動」の周知を図っていきます。

【質問】 若い人に向けた講話の方法について、自覚を持たせることができるような形式で実施したほうがいいのではないか。

《回答》 一方的なものとならないようにディスカッション形式で実施するなどの方法を検討していきます。

5 鑑識業務見学

6 釧路方面本部地域課通信指令室見学

7 閉会

第5 次回開催予定

令和8年2月に開催予定とする。

令和 7 年 12 月 25 日

会 長

荒島 弘幸



令和 7 年 12 月 17 日

副会長

根本 歩

